

HP委員会新企画「京都探訪」第2回～福知山市～

HP委員会の新企画をはじめました。
京都各地を訪ね、その地域を紹介しながら、
そこで活躍されている行政相談委員のお話を聞くという企画です。

今回は、宇治市に次いで第2回目として、福知山市三和町大原神社を訪ねました。三和町の行政相談委員は、大原神社の宮司を務めておられる
林 秀俊委員です。



拝殿前の石段で、全員の記念撮影



本殿で、林 秀俊宮司の神社紹介講話



大原神社は石段の上

訪問日：平成23年10月28日（金）
訪問者：京都評価事務所 角田所長
京都地相協 山本会長
山口事務局長
HP委員 瀬田、麻田、松石、辻
岩城、村内各委員
コース：車4台に分乗して、京都縦貫道を丹波へ。11：30分、三和荘に到着。昼食。
午後1時、大原神社に到着



本殿と拝殿の側面（一体化した珍しい建築）

三和町は、京都縦貫道「丹波」ICから国道9号で約30分。いかにも山の町らしく、道中には、丹波栗や黒豆の看板、鈴なりの実をつけた柿の木々。それでも、京都市内「沓掛」ICから1時間余り。意外と近い感じがしました。

三和町

三和町は、平成18年に福知山市、天田郡夜久野町、加佐郡大江町と合併し、福知山市三和町となりました。

人口は4477人

三和町大原は、三和町の中心地からさらに北東へ約10km。清流「川合川」沿いに開けた山の町。その中心に鎮座した大原神社。



川合川は、小じんまりした清流だった

天一位大原神社

大原神社の参道の石段を上がると、いきなり威風堂々とした拝殿が目
に飛び込んできます。

拝殿の唐破風に施された龍の彫刻は、見る人を圧倒します。

創建は、社史によれば、仁寿2年（852年）とのこと。建物は、現
在京都市指定文化財に指定されています。

神社名の頭に付けられた「天一位」の名称が珍しくて、林宮司にお訊
ねしました。

天一位は、都の戌亥の方角（北西）に位置することを表したとのこと。



珍しい産屋が今も残っています

珍しい、今も残されている産屋

大原神社は、女神三神を祀られ、特に安産の神様として古来より崇敬
されてきました。

江戸時代には、近隣の大名だけでなく、遠方の諸大名や公家も安産祈
願に参拝されたとの記録がのこされています。

安産に関して、現在日本でこの大原神社だけに残っている産屋が、
川合川のほとりにあって、医学生らも見学に訪れるとのことでした。

茅葺の堂々とした絵馬堂

境内に茅葺の立派な絵馬堂が立っています。

架けられた絵馬を拝見すると、古い時代から遠方より、安産を祈願し
て参拝されたようすが伺えます。



堂々とした茅葺の絵馬堂

行政相談委員 林 秀俊委員

このような環境の中で、林委員は行政相談委員の任務を遂行されてい
ます。

「このような町ですから、相談はほとんど民事で、国や市への相談は
少なく、行政相談は2割、民事が8割」とのことでした。

「民事の相談の中では、仕事のこと、障害年金、メンタルなことなど
が多い事例です。

最近の相談では、郵便局の位置を変えてほしいという声が多くありま
した。

現在の郵便局は、車の往来が多く、高齢者にとって危険が多い」と相
談されています。

定例の相談は、旧三和町役場で、民生委員や人権擁護委員と合同で相
談会をもっているとのことでした。



行政相談について話される林委員